

### 1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	4077700138
法人名	社会福祉法人 希望の丘
事業所名	聖母園グループホーム
所在地	福岡県三井郡大刀洗町大字今491番地 (電話) 0942-77-3774

評価機関名	福岡県社会福祉協議会
所在地	福岡県春日市原町3-1-7
訪問調査日	H21年 10月 22日
評価確定日	H21年 12月 15日

【情報提供票より】 (平成21年9月25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 15年 9月 1日
ユニット数	1 ユニット
利用定員数計	9 人
職員数	8 人
常勤	8人, 非常勤 0人, 常勤換算 8人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り
	1階建ての ~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有( 円) (無)			
保証金の有無(入居一時金含む)	(有)(200,000 円) 無	有りの場合償却の有無	有 / (無)	
食材料費	朝食	300 円	昼食	450 円
	夕食	400 円	おやつ	150 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要 (平成21年9月25日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	2 名	要介護2	1 名		
要介護3	5 名	要介護4	0 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 88.5 歳	最低	80 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	神代病院・嶋田病院・かわの歯科
---------	-----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

田園と住宅地が混在する自然豊かな環境の中に位置する事業所で、母体法人に併設されている。和風の平屋建てで、ゆったりとした木の温もりを活かした家庭的で暖かみのある和やかな雰囲気である。その人らしさを大切に、自信や喜びにつながるケアを行い「地域の一員として暮らす」という理念を掲げ、利用者主体のサービス提供や地域交流を、管理者や職員が一丸となって心がけ、実践している。利用者一人ひとりの状態に応じた生活リハビリや学習療法を積極的に実施し、様々な形で地域交流にも力を注ぎ、家族や地域住民から信頼されている様子が随所に伺える。質の高いケアを実施するために職場環境を整え、職員教育に力を入れている。介護計画や記録も具体的に適切になされ、常にサービス向上のため独自の工夫や取り組みを行い、着実に実行している。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での改善課題はないが、よりよい事業所を目指し、自分達で課題を見出し、改善計画を立て、取り組んでいる。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は全職員で取り組み、管理者が集約している。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議を定期的に開催し、委員が率直に意見や要望を言えるような関係作りに努めている。家族アンケートの結果報告する等、意見や要望は、日頃のケアに結びつける取り組みを行っている。会議録を作成し、職員間で共有化を図っている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部8, 9)
	意見箱を設置し、家族来訪時は意見や要望を気軽に表出できるような雰囲気作りや声かけを行っている。定期的に開催される行事や家族会では活発な意見交換があり、家族アンケートを実施する等、家族の意見や要望を表明しやすい仕組みを作り上げている。また、家族等へ事業所以外の苦情に関する第三者相談窓口について、入居時及び折に触れて説明している。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会・自治会に加入し、近隣の保育園・高等学校と交流がある。地域行事へ参加し、また法人全体で開催する夏祭りに家族や地元の人々を招く等、地域交流に積極的に取り組んでいる。

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
<b>【I 理念に基づく運営】</b>					
<b>1. 理念の共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念に「その人らしさを大切に」・「地域の中の一員として」等、地域密着型の視点がある。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を朝礼時に唱和し、ミーティング時も議題に挙げる等、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支え合い</b>					
3	5	○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会・自治会に加入し、近隣の保育園・高等学校と交流がある。地域行事へ参加し、また法人全体で開催する夏祭りに家族や地元の人々を招く等、地域交流に積極的に取り組んでいる。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は全職員で取り組み、管理者が集約している。前回評価での改善課題はないが、よりよい事業所を目指し、自分達で課題を見出し改善計画を立て、取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を定期的に行い、委員が率直に意見や要望を言えるような関係作りに努めている。家族アンケートの結果報告する等、意見や要望は、日頃のケアに結びつける取り組みを行っている。会議録を作成し、職員間で共有化を図っている。		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>行政との連携を密に取り、サービスに関する課題の話し合いを行い、課題解決に向けて協働している。市町村からの依頼で、民生委員児童委員向けの「認知症講話」を行っている。</p>		
7	10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>全職員は、制度について、内・外部研修で学ぶ機会を設け、報告・伝達研修で共有化を図っている。パンフレット・研修記録・報告書がある。また、家族等へは、制度に関して入居時や必要時に説明し、対象となる人には地域の法律相談に繋げる等の取り組みがある。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
8	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>2ヶ月に1回、事業所便りを発行し、利用者の暮らしぶりや行事の様子を知らせている。来訪時に状況報告し、緊急時等は電話で迅速な対応を行っている。遠方の家族には、写真や手紙を送付している。金銭管理については、月1回、出納帳を明示しており家族の署名がある。</p>		
9	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱を設置し、家族来訪時は意見や要望を気軽に表出できるような雰囲気作りや声かけを行っている。定期的に関催される行事や家族会では活発な意見交換があり、家族アンケートを実施する等、家族の意見や要望を表明しやすい仕組みを作り上げている。また、家族等へ事業所以外の苦情に関する第三者相談窓口について、入居時及び折に触れて説明している。</p>		
10	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>法人施設間で職員の異動はあるが、行事以外にも日常的に利用者と交流し、顔なじみの関係になるよう努めている。職員が代わる際は、引き継ぎの期間を十分に取る等の配慮がある。</p>		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
11	19	<p>○人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。</p> <p>また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>職員の募集・採用にあたっては、性別や年齢等に関係なく、採用対象から排除しないようにしている。経験に応じた研修の確保や資格取得のための勉強会の開催等、職員の自己実現に向けた配慮がある。</p>		
12	20	<p>○人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>外部研修の受講や職員同士のグループ討議等で、人権の尊重を徹底して学んでいる。パンフレット・研修記録・報告書がある。</p>		
13	21	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>全職員が経験に応じた研修に参加できるよう内・外部研修の企画を行い、研修を受ける機会を確保している。外部研修受講後は報告書を作成し、全職員が研修内容を共有できるように会議等で報告している。</p>		
14	22	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>県及び地域の同業者ネットワークに加入し、管理者や職員は共に研修会や交流会に参加している。他事業所と相互に訪問や意見交換等を行い、サービスの質の向上に努めている。</p>		
<b>【Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援】</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	28	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用開始前に見学や職員による自宅訪問等を行っている。サービス開始時は利用者の意向やペースを尊重し、集中的に見守りや観察を行っている。他の利用者とのコミュニケーションに配慮し、家族の協力を得る等して、徐々に事業所に馴染めるような工夫をしている。</p>		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	29	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>料理や園芸・手芸等を共に行い、職員が知らない知識や技を利用者から教えてもらう場面がある。習字や囲碁等、利用者の得意分野で力を発揮してもらいながら、職員と利用者が共に過ごし、学び、支えあう関係を築いている。</p>		
<b>【Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント】</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	35	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者一人ひとりの希望や意向を、本人の言葉や表情・行動等から把握し、介護計画に反映している。本人の希望や意向の把握が困難な場合は、家族から聴取した生活歴等を参考にしている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	38	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は、本人や家族の思いや意向及び全職員の気付きを取り入れ、本人を交えてカンファレンスを行い、個別具体的な内容となっている。家族が了承した署名・押印がある。</p>		
19	39	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>毎月、サービスの振り返り・評価・今後の方針等を行っている。6ヶ月に1回、また利用者の状態変化に応じて、介護計画を随時見直している。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	41	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者が入院した際は、利用者を見舞いながら、本人・家族・医療機関と連携を図り、早期退院に向けて取り組んでいる。また看護師を2名配置し、通院等の必要な支援は柔軟に対応している。</p>		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	45	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用開始時にかかりつけ医への受診等について話し合いをし、合意している。本人及び家族の希望や状況により、その都度柔軟に対応している。		
22	49	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、利用者の意向を大切にしながら、本人、家族、かかりつけ医と話し合いを行って合意を図り、職員を含め全員で方針を共有している。		
<b>【IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援】</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
23	52	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	誇りやプライバシーに配慮した声かけや対応をしている。ミーティングや内部研修で個人の尊厳やプライバシー保護について話し合い、全職員で対応を徹底している。		
24	54	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはあるが、一人ひとりの体調に配慮しながら、日常的に自己決定の場面をつくり、その日そのときの気持ちを尊重して支援している。		
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
25	56	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者は、一緒に準備や片付けを行っている。職員は利用者と同じ内容の食事を同じテーブルで食べながら利用者と会話し、声かけや介助を行い、利用者が楽しんで食事ができるよう配慮している。		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
26	59	○入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者一人ひとりの体調や希望にあわせて、柔軟に対応している。入浴拒否する利用者に対しては、言葉かけを工夫したり、時間をずらす等して入浴を楽しめるように支援している。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
27	61	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は利用者のできることや得意なことを把握し、食事作り・畑仕事・ジャムや梅干し作り・着物の着付け・囲碁・習字・手芸・犬とのふれあい等、楽しみごとも含めて、一人ひとり支援している。		
28	63	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の状況や希望または天候等に配慮し、散歩、買い物、ドライブや外食等、戸外に出かけられるよう支援している。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
29	68	○鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	事業所は開放的で、居室や玄関は施錠していない。全職員は鍵をかけることの弊害を理解し、利用者の外出傾向を把握して、見守りや付き添いを行っている。		
30	73	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを作成している。年2回、消防署の協力を得て避難訓練を行っている。非常用食料や備品を準備している。また避難訓練を実施する際は、地域住民に参加協力を呼びかけている。		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
31	79	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事摂取量及び水分摂取量の記録が全利用者分ある。献立は、管理栄養士が利用者の嗜好を取り入れて作成している。</p>		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
32	83	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有空間は慈しみの言葉や写真、利用者作成の作品を掲示している。時計がどの場所からでも見えるよう複数かけられている。床の間・畳敷き・障子・縁側等、暖かみのある家庭的雰囲気である。日中は事業所全体が開放され、光や音に対する配慮がある。</p>		
33	85	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>テーブル・いす・整理ダンス等、利用者馴染みの家具や時計や小物を持ち込み、家族写真や自作の書を飾っている。その人らしい個性を尊重し、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		

※      は、重点項目。